

京都府 PTA 協議会会長賞

「目に見えない大切なもの」

木津川市立木津第二中学校 3年
坂崎友香

サン＝テグジュペリの『星の王子様』は、発行から約八十年が経つ今でも、世界中で愛されています。この物語の中に「大切なものは目に見えない」という言葉が出てきます。これは王子様と仲良くなったツキネが王子様に教えた秘密です。皆さんも聞いたことがあるのではないのでしょうか。私はこの言葉の奥深さに魅力を感じました。

私達は、目に見えない大切なものに囲まれて生きています。家族からの無償の愛情、友達との絆、将来の目標、気持ちや感情といった思い。それは、知らず知らずの内に、日々を彩り自分の世界を豊かにしていきます。逆に、目に見えないものは存在しないものという考え方は、自分の世界をモノトーンで狭いものにしてしまうでしょう。その代表が、人の心を考えないいじめの問題や、人の悩みを理解できない「他人について関心が無い」と答える人の増加です。相手の心を想像しないから、冷たく自分勝手な行為をするのではないのでしょうか。私は、一人一人の持つ世界が豊かであることは、明るく平和な社会に重要なことだと思います。だから、目に見えない大切なものをもっと大事にするべきであると考えます。そして、そのためには想像力が必要であると思います。

皆さんは、こんな体験をしたことがありますか。例えば、勉強が思い通りに進まず自分に自信が持てなかったり、喧嘩をしてしまった後に自己嫌悪に陥ったりした時。自分の長所や行いを褒められて、勇気づけられたことがあると思います。

私は、先日、二年半活動したテニス部を引退しました。短い期間でしたが、楽しさや苦しさを多く経験した思い出深い時間になりました。中学二年生の秋、毎日一生懸命部活に取り組んだ努力が実らずに、私は大きなショックを受けました。その時、私の部活での様子を知る友達や先生が「いつもよく頑張っているね」と言ってくれたのです。努力が実らなかったことに落ち込み、頑張っても意味がない、と自暴自棄になりそうだった私は、この言葉のおかげで、もう一度頑張ろうと思えました。この体験は、今でも心に残っています。何故なら、私の努力の影にある「認められたい」という思いが大事にされた瞬間だったからです。決して言葉にして、努力した自分を認めてほしいと伝えたくてではありません。しかし、友達や先生は私の様子を見て、辛い気持ちを「想像」して、暖かい言葉で私を励ましてくれました。豊かな想像力は、目に見えない傷ついた心を救ってくれたのです。

私はこの体験を通して、目に見えない大切なものを大事にする幸せを知りました。その幸せに気づいたからこそ、身近な人にもその幸せを知ってほしいと思いました。それからの私は、相手の気持ちを想像して相手が幸せな気持ちになる行動をとるようにしています。そして、私のその行動が、きっと誰かの目に見えない大切なものを救うと信じています。

また、想像力は相手に関わらない自分自身のことにも必要です。私は、今数ヶ月後の高校入試に向けて、勉強しています。辛くても諦めないのは、やはり志望校の制服を着ているカッコいい自分を想像して、そうなりたいと思うからです。

大切なものは目に見えません。しかし、最初に述べたように、大切なものは日々を照らし、自分の世界を無限大に広げていきます。目に見えないものは、形が分からないし、扱いにくいです。それでも豊かな想像力で色々なものを見るべきです。そうすることで、目に見えないものはいつしか、確かに存在するものと思えるでしょう。

これから先、グローバル化が進み、人はより多くの人と関わっていくでしょう。そうなれば、多様な人々の様々な考えで出来た大きな社会になると思います。その中で、豊かな想像力で大切なものを大事にし続けたいと思います。一人一人の持つ世界がつながる明るい社会が出来ることを、私は願っています。